

中央労働委員会行政文書管理規則案 新旧対照表

(傍線部分は改正部分)

改 正 案	現 行
<p>(総括文書管理者)</p> <p>第3条 (略)</p> <p><u>(総括文書管理者代理)</u></p> <p><u>第3条の2 委員会に総括文書管理者代理1名を置く。</u></p> <p><u>2 総括文書管理者代理は、総括文書管理者が指名する者をもって充てる。</u></p> <p><u>3 総括文書管理者代理は、命を受け、委員会における行政文書の管理の適正な実施に係る総括文書管理者の事務を代理する。</u></p> <p>(副総括文書管理者)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 副総括文書管理者は、<u>第3</u>条第3項各号に掲げる事務について総括文書管理者を補佐するものとする。</p> <p><u>附 則 (平成 31年〇月〇日中央労働委員会訓第〇号)</u></p> <p><u>(施行期日)</u></p> <p><u>この訓令は、平成 31年4月1日から施行する。</u></p>	<p>(総括文書管理者)</p> <p>第3条 (略)</p> <p>(新設)</p> <p>(副総括文書管理者)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 副総括文書管理者は、<u>前</u>条第3項各号に掲げる事務について総括文書管理者を補佐するものとする。</p> <p>(新設)</p>